might

リチウムバッテリー式
ＬＥＤ投光機-電源装置部

ネオエコブライト
LDP2200D

取扱説明書

この取扱説明書は大切に保管してください。
本機を貸し出す時は、必ず取扱説明書を添付してください。

目次

はじめに

このたびは、リチウムバッテリー式 LED 投光機　『ネオエコブライト NB180-WD』をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
本書は『NB180-WD』のバッテリー電源装置部『LDP2200D』の取扱説明書になります。
本機の取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
本機の取り扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取り扱いができる人が行ってください。
取扱説明書は、いつでもご覧頂けるように大切に保管してください。

取り扱い上の注意

▲ 警告

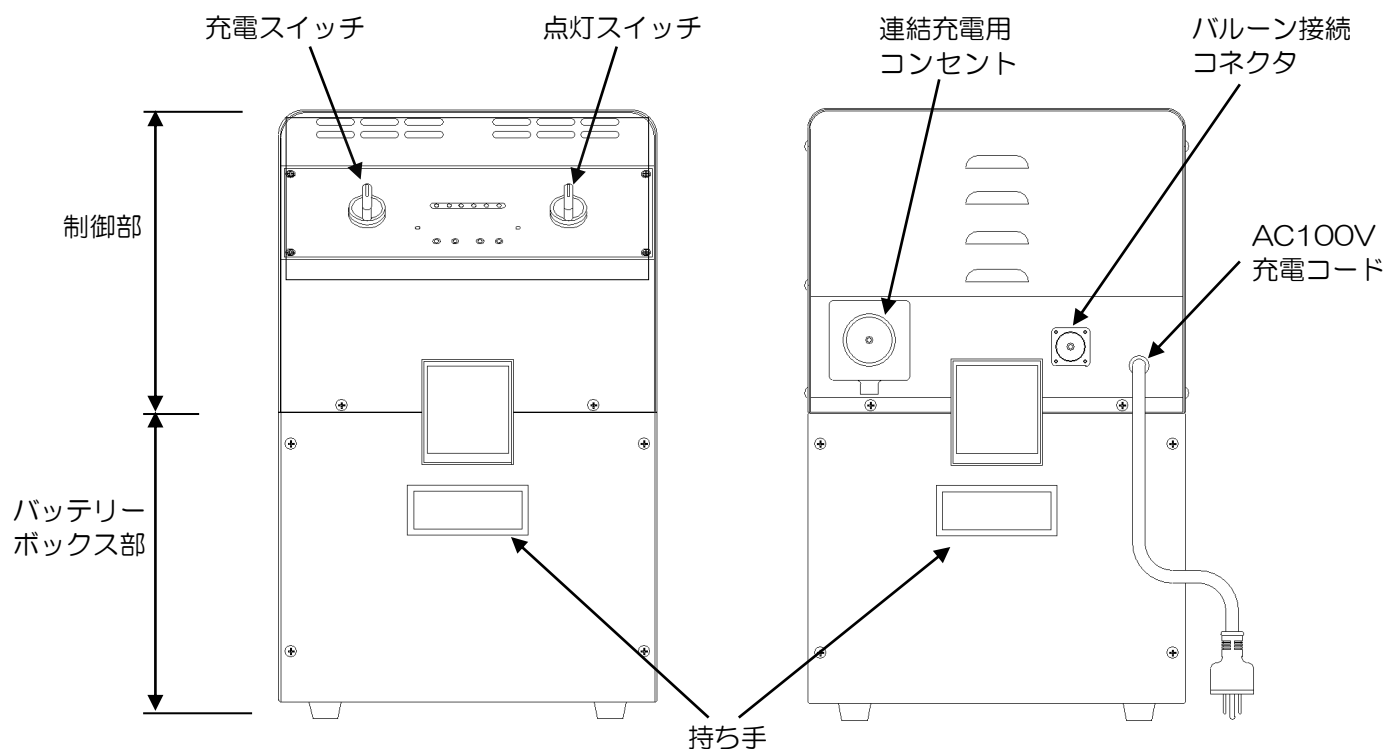
- 分解したり、改造したりしないでください。本機の改造による事故、部品を取り外した状態で使用した事故等については、一切の責任を負いません。
- 本機が変形、または損傷した場合は、直ちに使用を中止し、購入店、または弊社までご連絡ください。
- 電源コードやケーブルを抜くときは、プラグ部分を持って抜いてください。
- コード類に重いものを載せたり､引っ張ったり､傷を付けたりしないでください。もし亀裂等ありましたら、速やかに修理、または交換してください。
- 運搬時はバッテリーボックス部のプラスチック持ち手部分を持ってください｡またクレーン等で吊り上げるときは､バッテリーボックス部の底からワイヤー等でしっかり固定し、吊り上げてください。本体部とバッテリーボックスを固定する“樹脂ラッチ“が外れ、バッテリーボックス部が落下する恐れがあります。

▲ 注意

- 湿気やホコリ、油煙、湯気の多い場所で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 異常に高温な場所、直射日光が当たる場所に放置しないでください。変形や故障の原因となります。
- 海辺や砂地での使用は、砂塵が原因で故障し、修理ができない場合があります。
- 本機は固い場所に水平に設置し、不安定な場所での使用は止めてください。傾斜した状態になると転倒破損の原因となります。
- 本機に座ったり、重たいものを載せないでください。ケースカバーが破損する恐れがあります。
- **使用後は必ず充電を行ってください。**

1　構成・仕様

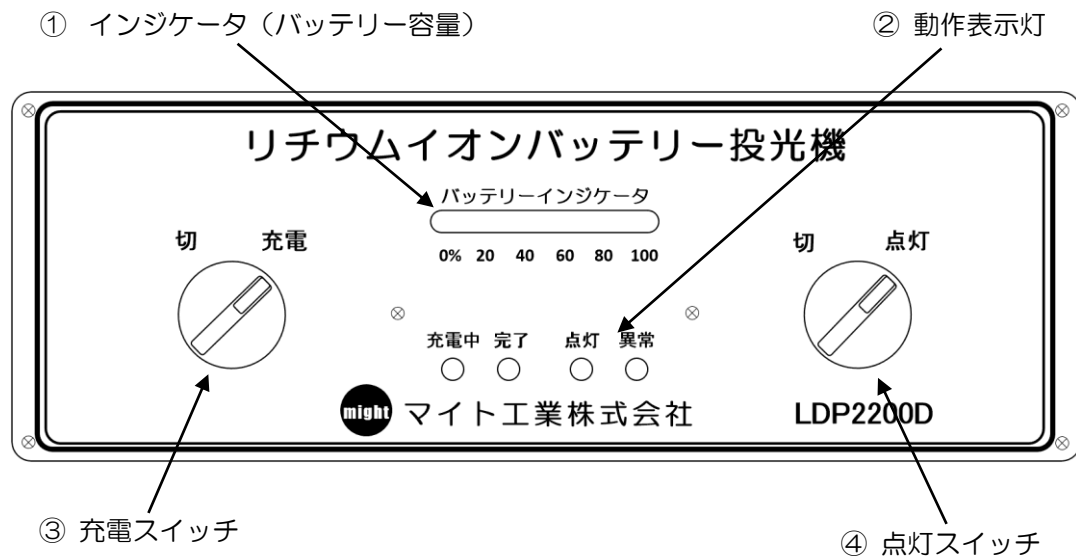
(1)　構成

本機は上部制御部と、下部バッテリーボックス部に分離可能な構造になっておりますが、バッテリーメンテナンス時などの場合の為の分離構造ですので、上部制御部と下部バッテリーボックス部の**分離は行わないで下さい**。（一体型のユニットとしてお取扱い下さい）

(2)　仕様

名称		ネオエコブライト ND180-WD / 電源装置部
型式		LDP2200D
充電装置部	入力定格 出力定格 充電方式 冷却方式	交流 100V　50／60Hz　600W 直流 42.6V　最大 14A バッテリーセルバランス制御/定電流定電圧 強制冷却
	充電時間の目安	残量 0%の状態から約 5～6 時間 （バッテリーの状態により前後します/周囲温度 20℃/新規購入時）
バッテリー部	バッテリーの種類 定格容量	リチウムバッテリー 60Ah×12 セル直列／2200Wh
投光機出力	出力 出力電圧 出力容量 出力端子	直流タイプ　1 回路 DC36～42.6V（充電量による） 専用バルーン 200W（弊社製） 専用コネクタ（NJW-202-RM）
	点灯時間の目安	満充電の状態から約 12 時間 （バルーン 200W/周囲温度 20℃/新規購入時）※1
外形寸法（mm）	W300×L470×H500　(電源装置部のみ)	
質 量（kg）	48kg	

※1　低温環境下(気温０℃付近)では、点灯時間は約 10%程度短くなります。

2　操作パネルについて

（1）　操作パネル面の各部名称

(2)　操作パネル面の各部説明

① インジケータ（バッテリー容量）・・・・・　バッテリーの残容量を20%単位で表示します。
また、「異常」発生時にはエラー内容を表示します。
（[点灯]SW／[充電]SW を切にしてもインジケータはすぐには消灯せず、約 10 分後に消灯します。 ※1 オートパワーオフ機能）

② 動作表示灯　・・・・・・・
[充電中]　充電動作中に点灯します。
[充電完了]　充電完了時に点灯します。
[点灯]　バルーン出力(点灯)時に点灯します。
[異常]　本機に異常(エラー)が発生した場合に点灯します。
（※［異常]発生時、インジケータ部でエラーコードを表示します）

③ 充電スイッチ　・・・・・・　充電動作をします。
（注：バッテリー残量が 100%の時は、充電動作しません【過充電防止モード】）

④ 点灯スイッチ　・・・・・・　バルーンを点灯（バルーンコネクタへ出力）します。
（注：バッテリー残量が 0%の時は、20%以上充電しないと出力しません）

※1　［点灯］スイッチと［充電］スイッチは独立していますので、点灯中の充電動作も可能です。

※2　[充電]操作中は、［点灯］スイッチの切り忘れにご注意下さい。

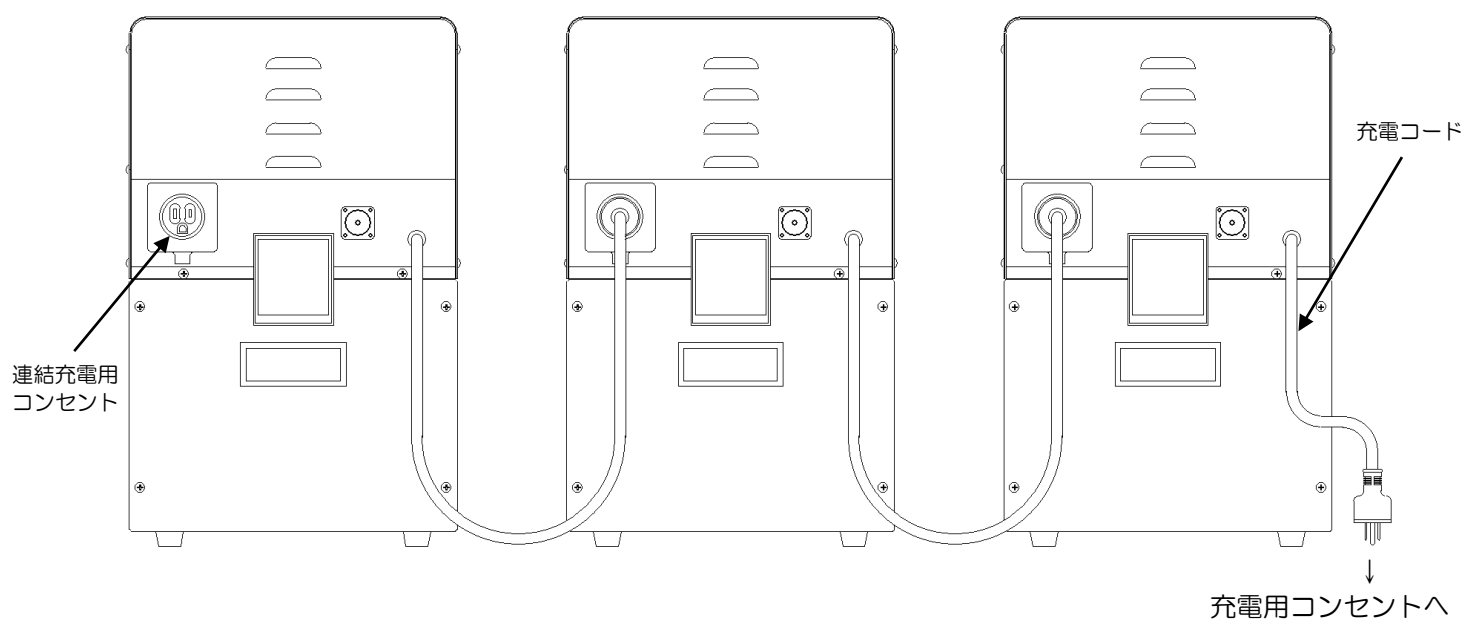
※1【オートパワーオフ】（スリープモード）機能

10 分間以上[点灯]も[充電]もしなかった場合、自動で電源 OFF します（インジケータも消灯します）

[点灯]もしくは[充電]スイッチの OFF/ON で動作復帰します

3　連結充電用コンセントについて

本機の後背面には『連結充電用コンセント』が付いております。
これは、本機数台を下図のように連結して繋ぎ、順送りで充電させる場合に使用して下さい。

※ 全ての装置の「充電」スイッチをONにして「点灯」スイッチ「切」を確認して下さい。

◎ 連結充電用コンセントには通常、充電コードのAC100Vが直接出力されています。本機の「充電」を開始すると、連結充電用コンセントに出力していたAC100Vを本機内の充電機が使用するので、連結充電用コンセントからのAC100V出力が止まります。
「充電」が完了すると、再び連結充電用コンセントにAC100Vを直接出力します。

4　リチウムバッテリーについて

⑴ 【組込み専用】バッテリーです

本機のリチウムバッテリーパックは組込み専用ですので、お客様でのバッテリー交換はできません。リチウムバッテリーに異常が見られる時は、購入店または弊社まで修理をご依頼下さい。

⑵ リチウムバッテリーの特性と、ご使用上の注意

リチウムバッテリーは鉛電池と比較して、高容量で比較的軽量であり、電圧降下が少なく、低温環境でも使用できるなど、優れた特性を持つバッテリーですが、運用には以下の点にご注意ください。

⚠ 残量 0%のまま放置するとバッテリー自体が損傷して使用できなくなる可能性があります。

リチウムバッテリーには最高電圧と最低電圧が決められており、最低電圧を下回って放電してしまうと【過放電】、バッテリー内のリチウムが結晶化し内部の破壊が進む可能性があります。

ご使用後バッテリー残量 0%の状態で放置すると、自然放電により最低電圧を下回って【過放電】に陥る可能性がありますので、ご使用後は、できるだけ速やかに充電を実施して下さい。

また、本機をご使用にならずに長期保管される場合も、必ず一度『充電』を行ってから保管して下さい。

また、本機に搭載されているのは専用充電ユニットです。専用充電器以外の物を用いて充電を行いますと、発熱や発火などを起こす可能性があります。弊社の専用充電機以外での充電はおやめください。

5　バルーン投光機の接続と点灯

⑴　『バルーン コネクタ』にＬＥＤバルーンを接続してください。

⑵　『点灯』スイッチを『点灯』に入れると、ＬＥＤバルーンが点灯します。

⑶　消灯する場合は、『点灯』スイッチを『切』に戻してください。

⑷　バッテリー残量が 0%になると、バルーン出力は自動停止されます。20%以上「充電」を実施しないと、再点灯はできません。

6　充電操作

⚠ 注意

・　電源より距離があるためにコードリール(15Ａのもの)を使用する時は、コードリールを巻いたままの使用は避けてください。コードリールが過熱し、焼損の原因となります。中継コードは、太さ(導体公称断面積)2.0mm^{2}以上のものを、最大長さ 20mでご使用願います。

・　本機を充電中、家や工場の電源ブレーカーが切れるときは、同じ電源回路に冷・暖房機や、その他の電気器具が使用されて、容量不足になっている可能性があります。（または、ブレーカーそのものが古いことや、容量が小さいこともあります。）確認して他の負荷のない回路の電源コンセントを使用してください。

・　感電防止のため、100Ｖ入力コードのアースクリップを必ずアース（接地）してください。

⑴　本体後面の専用 AC100V 充電コードをしっかりとコンセントに接続してください。

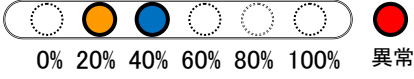
⑵　『充電スイッチ』を『充電』に入れると、『充電中』ランプが点灯し、充電が開始されます。（充電中、冷却ファンが回転し、吹出口から風が吹き出します。）

⑶　残量 0%～100%までのフル充電で、約 5～6 時間で充電が完了します。インジケータが100%表示され、『充電完了』ランプが点灯します。

※1 充電完了後、約１０分で表示全消灯します（オートパワーオフ機能の項参照)。

⑷　充電が完了すれば、『充電スイッチ』を『切』に戻してください。

※ 満充電（残量表示 100%）時は、「充電」スイッチを入れても充電動作いたしません。

【セルバランス充電モード】

100%のランプが点滅になり、「充電中」のランプも点灯/消灯を繰り返します。充電が完了すれば、インジケータは 100%となり「充電完了」ランプが点灯します。

（セルバランス充電モードについて）

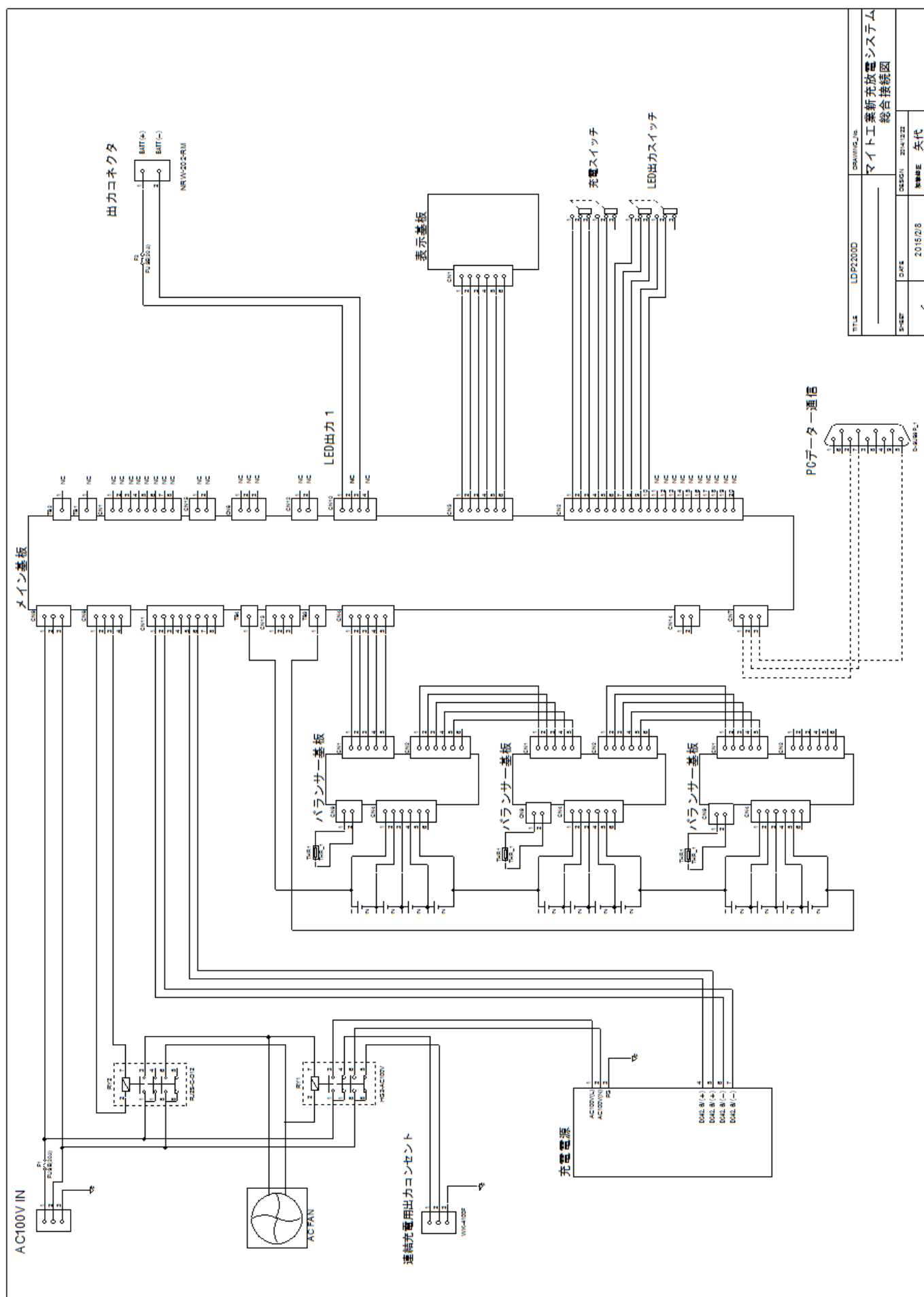
本機のリチウムバッテリーは、バッテリーセル×12 本の直列接続という構成になっております。リチウムバッテリーセルにはごく僅かな個体差があり、充放電を繰り返すと各セル間に充電量の差が発生する場合があり、本機にはセル間のバランス調整を行う機能が搭載されております。

セルバランス充電は、セルの個体差が大きくなった場合にのみ実施され、充電動作の末期に、最大約 40 分間動作します。

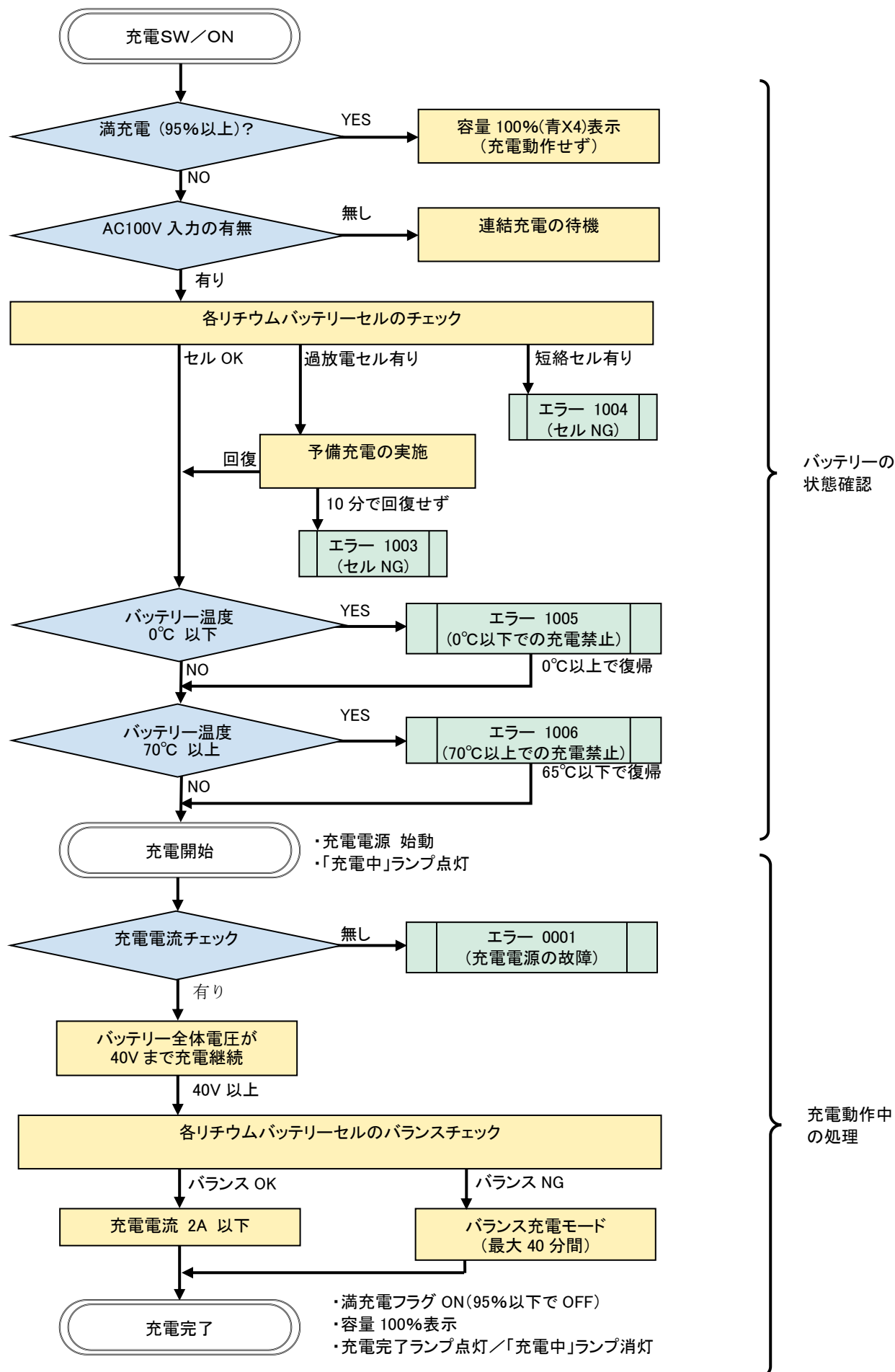
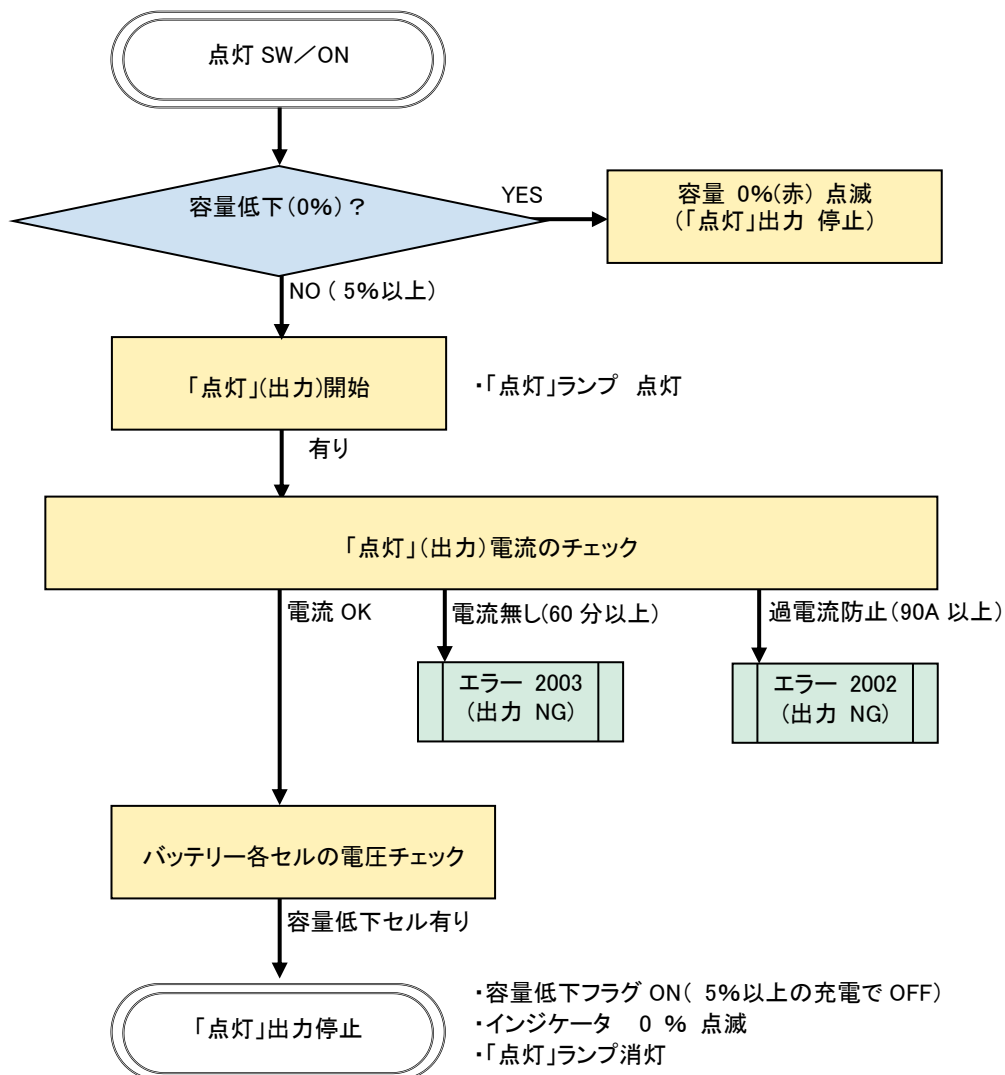
※ エラーコード表

コード	インジケータ表示	エラー内容	対処
システムエラー表示			
0001	0% 20% 40% 60% 80% 100% 異常	充電電源から充電できない	メーカー修理
0002	0% 20% 40% 60% 80% 100% 異常	メイン基板故障	メーカー修理
0003	0% 20% 40% 60% 80% 100% 異常	セルバランス基板-通信異常	メーカー修理
0004	0% 20% 40% 60% 80% 100% 異常	セルバランス基板-故障	メーカー修理
充電エラー表示			
1001	0% 20% 40% 60% 80% 100% 異常	セル過電圧-検知	点灯 SW → OFF/ON で復帰 ※ 頻発時はメーカー修理
1002	0% 20% 40% 60% 80% 100% 異常	充電時間が異常に長い	メーカー修理(バッテリ検査)
1003	0% 20% 40% 60% 80% 100% 異常	予備充電が 10 分以上	メーカー修理(バッテリ検査)
1004	0% 20% 40% 60% 80% 100% 異常	セル短絡	メーカー修理(バッテリ検査)
1005	0% 20% 40% 60% 80% 100% 異常	バッテリー温度 0℃以下-充電禁止	適切な温度環境で充電して下さい
1006	0% 20% 40% 60% 80% 100% 異常	バッテリー温度 70℃以上-充電禁止	適切な温度環境で充電して下さい
放電エラー表示			
2001	0% 20% 40% 60% 80% 100% 異常	残容量 60%以上で放電下限電圧に達した	点灯 SW → OFF/ON で復帰 ※ 頻発時はメーカー修理
2002	0% 20% 40% 60% 80% 100% 異常	90A 以上の過電流出力検知	バルーン側に短絡が無いか確認して下さい
2003	0% 20% 40% 60% 80% 100% 異常	60 分以上, 出力電流を検知せず	バルーンが点灯しているか、接続されているかを確認して下さい

総合接続図

AC100V IN
メイン基板
出力コネクタ
NRW-202-RM
AC FAN
LED出力 1
連結充電用出力コンセント
表示基板
バランサー基板
バランサー基板
バランサー基板
充電電源
充電スイッチ
LED出力スイッチ
PCデーター通信
LDP2200D
マイト工業新充放電システム
総合接続図
2015/2/8
矢代

LDP2200D 「充電」動作フローチャート

バッテリーの
状態確認

充電動作中
の処理

LDP2200D 「点灯」(出力)動作フローチャート

オートパワーオフ(スリープモード)

10 分間以上, 『充電』動作も『点灯』動作も無い場合は、電源が自動で OFF になります。
(「充電」スイッチ, もしくは『点灯』スイッチの OFF/ON で, 動作復帰します)

保 証 書

このたびはLED 投光機をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
お買い上げいただいた製品につきましては、次の通り保証いたします。

1. 保証期間
   無償保証修理を受けられる期間はお買い上げから本体は 1 年間、リチウムバッテリーは 2 年間と致します。
2. 保証内容
   保証期間に通常の使用状態で本機を構成する部品に材料または製造上の不具合が発生し、弊社がこの欠陥を認めた場合に限り、修理を無償でいたします。
3. 保証の適用除外
   次に示すような場合は保証期間内であっても有償修理となります。
   ① 取扱説明書に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検、保管方法を行われていなかったために生じた故障
   ② 弊社が示す仕様の限度を超えて使用したために生じた故障
   ③ 弊社が認めていない改造・変更が原因となって生じた故障
   ④ 弊社のサービス指定工場及び弊社が認めたところ以外で修理し、それが原因で生じた故障
   ⑤ 弊社の純正部品以外の部品を使用したために生じた故障
   ⑥ 時の経過による変化（塗装面・メッキ面の自然退色、発錆など）
   ⑦ 一般的に品質、機能及び安全上に全く影響がないと認められる音、振動、外観上の軽微なキズなど
   ⑧ 自然災害または事故、過失、不注意による本機の損傷
   ⑨ 一般消耗品等で使用上における自然摩耗と認められるもの
   ⑩ 製品が日本国外で使用された場合
4. 注意事項
   ① 本保証書の提示なき場合または記載内容の不備、あるいは改定のある場合は保証しかねる場合があります。
   ② 本機の故障に起因するまたは関連するあらゆる損失及び費用は保証の範囲から除外させていただきます。

保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

機種(型式名)： LDP2200D		製造番号：
お買い上げ日：		
お客様	お名前：	
	ご住所：	
	ＴＥＬ：	
販売店様	住所：	
	店名： ＴＥＬ： 印	

マイト工業株式会社

マイト工業株式会社

本社　〒547-0006 大阪市平野区加美北 4-5-6

TEL 06-6793-8531㈹
http://www.might-jp.com

2015/3/2 第1版

might

NB-180WD用

ＬＥＤバルーン投光機用台車

取扱説明書

この取扱説明書は大切に保管して下さい。

本機を貸し出す時は、必ず取扱説明書を添付して下さい。

目 次

このたびは、マイト工業バッテリー投光機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

投光機台車を正しく安全にお使い頂くため、ご使用前や、点検の前に、この取扱説明書やバッテリー投光機ならびにＬＥＤ照明器の取扱説明書もよくお読み下さい。お読みになった後はお手元に大切に保管して下さい。

なお、ご不明な点は販売店または弊社までご相談下さい。

警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示します。

●投光機は下記の使用環境、条件で使用しないで下さい。

- 風速１5m／秒（目安：電線が揺れる、傘がさしにくいなどの状態）以上の場所
- 地盤または床面が強固でない場所や極端な傾斜がある場所
- 周囲温度３５℃を超える場所、湿度が８５％を超える場所
- 腐食性ガス、可燃性ガス、塩害の生じる場所
- 水の浸る場所および非常に激しい雨が当たる場所（オプションのビニールカバーを取付下さい）
- 可燃材に触れる場所
- 振動、衝撃の激しい場所
- 粉塵の多い場所

● 器具の据え付けには十分注意を払って下さい。

- 水平で地盤または床面のしっかりした場所にブレーキを掛け、アウトリガーを広げて固定して下さい。わずかでも傾斜があれば車輪に車止めを行って下さい。
- 傾斜があると、ポール支点に大きな力が加わり危険ですので、アウトリガーでしっかり固定されていることを確認して下さい。
- バルーンの取り付け、取り外しはポールを垂直な状態で行って下さい。また、バルーンを取り付けた状態のまま、ポールを　抜かないで下さい。

● 器具の改造、部品の変更は行わないで下さい。

● 万一、異常を感じたら使用を中止し、速やかに販売店または弊社までご相談下さい。

注意

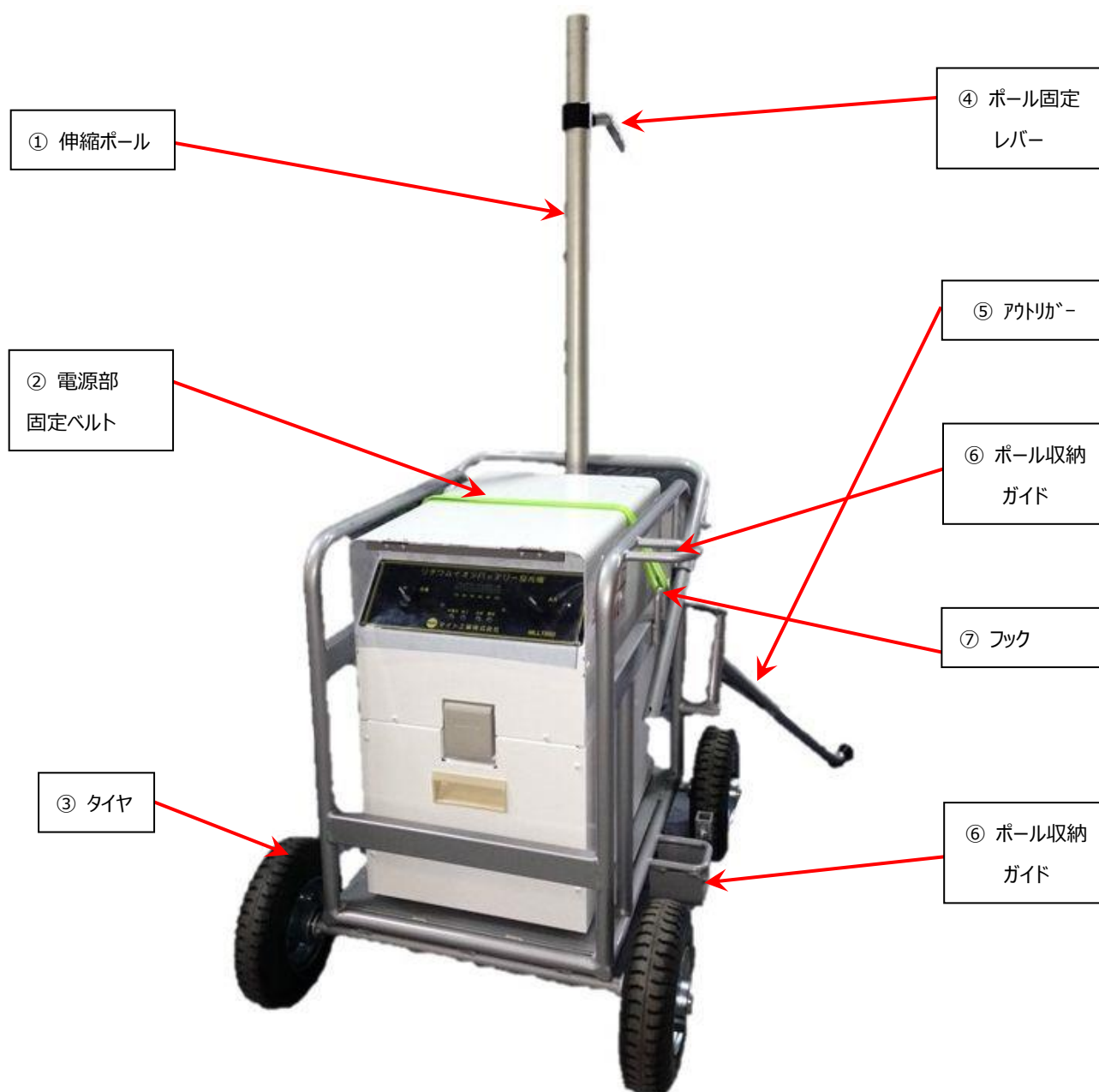
製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示します。

●お手入れの際には、必ず電源を切って、器具が十分に冷えてからおこなって下さい。

●この装置には寿命があります。一般的な使用状況でも何年もご使用頂くと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検もしくは交換が必要となりますので、販売店、または弊社までご相談下さい。

１． 各部の名称

正面図

ポールを立てた状態

背面図

ポールを収納した状態

２．　各部の解説

	名　称	解　説
①	伸縮ポール	バルーンを取付ける伸縮ポールです。 ダンパー式なのでレバーを緩めた際の急激な落下を防止します。
②	電源部固定ベルト	電源部を縛り固定するベルトです。⑦フックと締め付けます。
③	タイヤ	不整地用のゴムタイヤです。
④	ポール固定レバー	バルーンを適切な高さに調整する場合に使用します。時計回りに回すと締めつけポールが固定され、逆に回すと緩みポールを上下させることができます。
⑤	アウトリガー	台車が倒れないように広げて支えにします。 運搬時には、折り畳み可能です。
⑥	ポール収納ガイド	台車運搬時に抜いたポールを収めるガイドです。
⑦	フック	ベルトで電源部を固定するのに使用します。 ※使用法は本文を参照下さい。
⑧	引き手	台車を移動させるための取っ手です。 ⑪の引き手固定ボルトをゆるめることにより、長さ調整ができます。
⑨	ポール固定サドル	ポールを立てる際に挿し込みます。内側が耐震性のラバーになっており、⑫サドル締付レバーで固定します。
⑩	ブレーキペダル	踏み込んで左へスライドさせるとタイヤにブレーキが掛かります。 解除する場合は、踏んだまま右へスライドさせます。
⑪	引き手固定ボルト	引き手固定時に締め付けます。
⑫	サドル締付レバー	⑭のポール固定サドルを締めたり緩めたりするレバーです。 ※使用法は本文を参照下さい。
⑬	コード巻き付けフック	運搬／保管時に、電源部のＡＣ入力コードを巻付けるフックです。
⑭	ポール受け	ポールの下端の受けになります。
⑮	灯具収納バッグ	バルーンを収納するキャリーバッグです。

３．　操作方法

（１）伸縮ポールの設置とバルーンの取り付け

①．新品の場合、伸縮ポールは別梱包になってますので、伸縮ポールを箱から取り出します。

②．⑫サドル締付レバーを反時計回りに回し、⑨ール固定サドルを緩めます。
（下図参照）

③．ポールをサドルに挿入し、ポールの下端を⑪ポール受けに収まるまでポールを差し込みます。

④．⑫ドル締付レバーを時計回りに回し、ポールが動かなくなるまで締め付けます。
ポールが垂直になってるか確認します。

⑤．バルーンの取付けパイプにあるポール締めつけボルトを緩め、取付けパイプをポール先端に差込み、
締めつけボルトでバルーンが動かないように固定します。
※　この時点でバルーンには、帆布が装着されていることを確認。

⑥．⑨ポール固定レバーを反時計回りに回し緩めます。ポールが伸縮可動となりますので、適正な
高さに調整し、レバーを時計回りに回しポールが降下してこないように固定します。

⑦．バルーンのカールコード先端コネクターを電源部本体背面の出力端子に差込めば、バルーンの
取付け完了です。

（２）バルーンの取り外しと伸縮ポールの収納

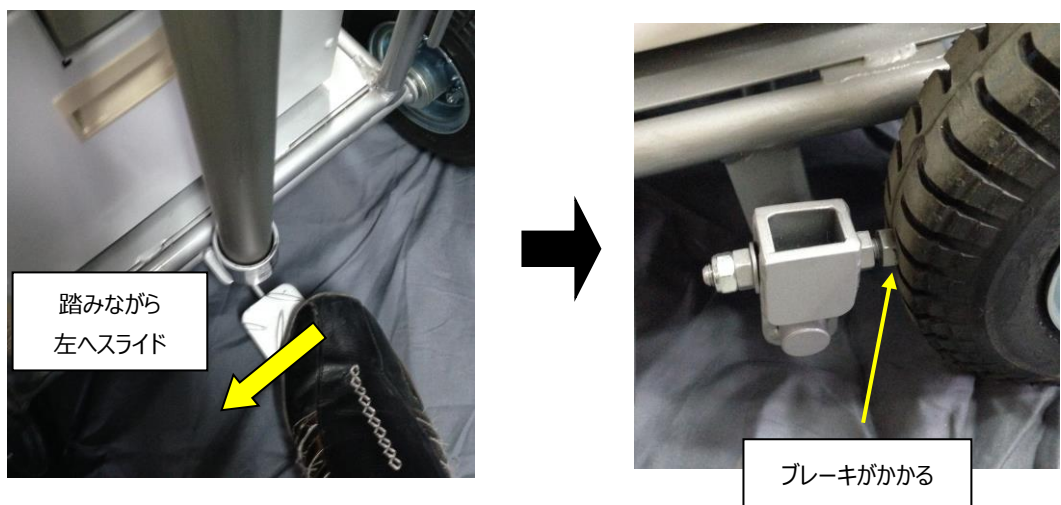
①．バルーンのカールコード先端コネクターを電源部本体背面の出力端子から抜きます。
※抜くときは、コネクターの矢印がある部分を左に回しながら抜きます。

②．⑨ポール固定レバーを回して緩め、ポールが一番下まで下降するまでバルーンを降ろします。
バルーンが下降しきったら、⑨ポール固定レバーを回しポールを固定します。

③．バルーンのポール締めつけボルトを緩め、バルーンをポールから抜き取ります。
バルーンは帆布を装着したまま破損しないように注意して、灯具収納バッグへ収納します。
（バルーン取扱説明書参照）

④．⑫サドル締付レバーを緩め、ポールを⑨ポール固定サドルから抜き、⑥ポール収納ガイドにポールを収めて収納完了です。

（3）台車の固定

①．台車の固定は、⑩ブレーキペダルを軽く踏み込み、左へスライドさせることで、タイヤにブレーキが掛かります。（下図参照）

②．台車本体両サイドに収まってる④アウトリガーを持ち上げ、⑰アウトリガーガイドに沿って、ガイドにあるツメとアウトリガーの溝が合う位置まで回転させ、アウトリガーをハメ込み固定します。

③．本体を横に揺らしても、アウトリガーでしっかり支えられてることを確認したら固定完了です。

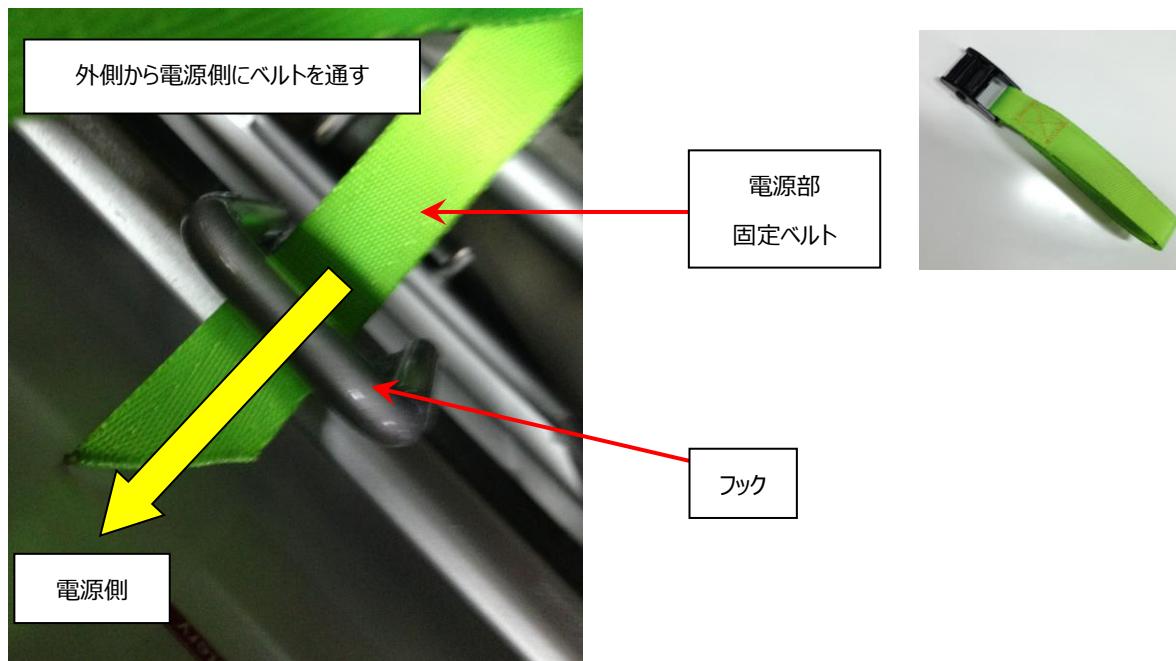
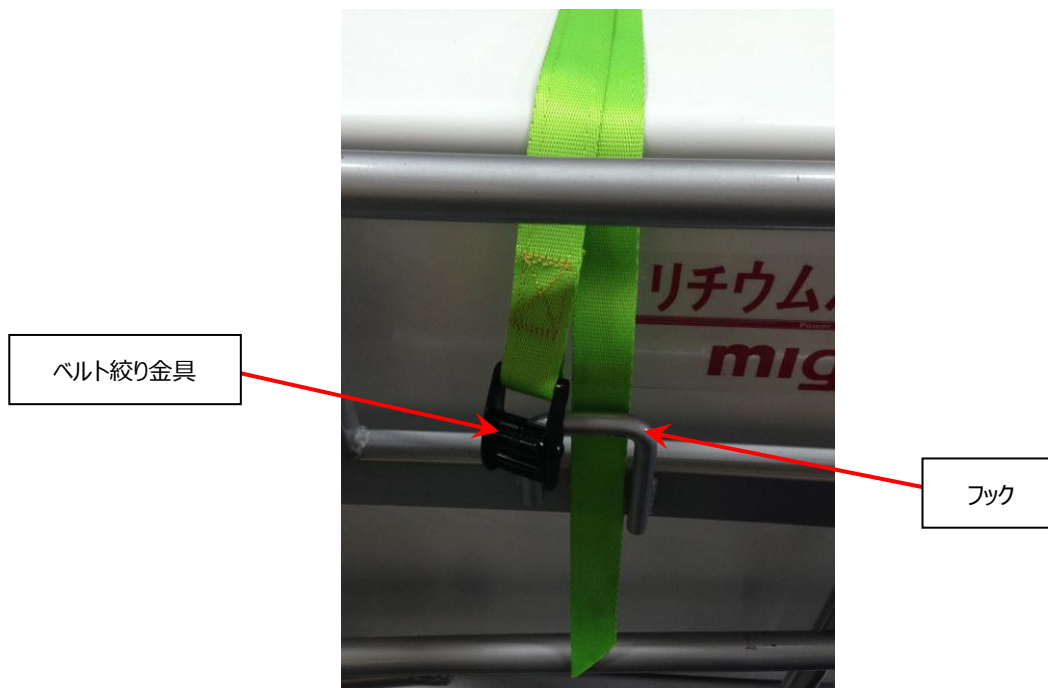
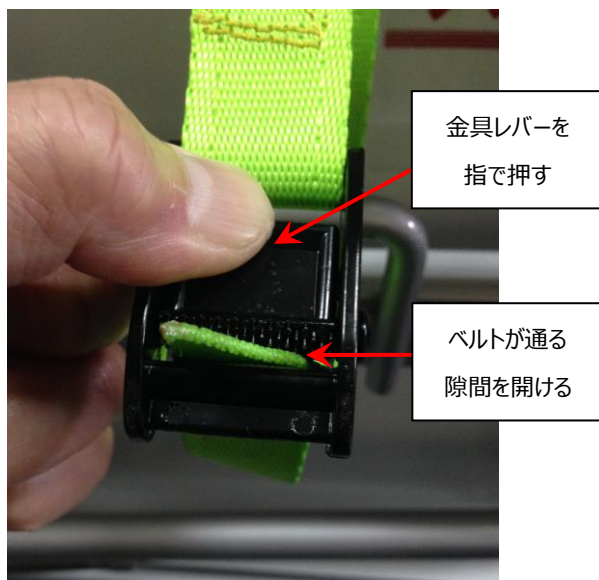
（4）台車の移動

①．⑪引き手固定ボルト(左右の 2 個)を緩め、⑧の引き手を引き出します。
引き出し終わったら、引き手固定ボルトを左右とも締めこみます。

②．⑩ブレーキペダルを踏み軽く右へスライドさせると、ペダルが元の位置に跳ね上がり、ブレーキが解除されます。

③．⑧引手を持って台車を移動させます。
移動が終われば、⑩ブレーキペダルでブレーキをかけて下さい。

（5）電源部固定ベルトの掛け方

①．⑦電源部固定ベルト先端を台車の外側から電源部に向かって、⑦フックに通します。

②．ベルトを本体に巻きつけるようにして、台車の反対側まで伸ばし、図のようにベルト先端を本体側から外へ向かって、フックに通す。

③．ベルトの先端を下左図のようにベルト絞り金具に通す。この時金具のレバーを指で押し、
ベルトを通す隙間を開ける。ベルトを金具に通したら、位置調整を行い、下右図のようにベルト先端を
強く引っ張って電源部本体を絞り固定する。

4．余ったベルトは、図のようにベルトに巻きつけておきます。

４．お手入れ方法

●台車の清掃について・・・・汚れを落とす場合は、洗剤（うすめた中性洗剤がおすすめ）を浸した
やわらかい布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないように乾いた布で
仕上げて下さい。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたりしないで下さい。
火災、変質、変色の原因となることがあります。

５．商品の保証について

台車の保証期間は、商品お買い上げ日より１年間です。

保証内容　　取扱説明書等の注意書に従った状態で保証期間内に故障した場合には、
無料修理等の処置をさせていただきます。
修理に関する相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店、
または弊社までお問い合わせ下さい。

保 証 書

このたびはマイト投光機台車をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
お買い上げげいただいた製品につきましては、次の通り保証いたします。

1. 保証期間
   無償保証修理を受けられる期間はお買い上げから
   1年間と致します。
2. 保証内容
   保証期間に通常の使用状態で本機を構成する部品に材料または製造上の不具合が発生し、弊社がこの欠陥を認めた場合に限り、修理を無償でいたします。
3. 保証の適用除外
   次に示すような場合は保証期間内であっても有償修理となります。
   ① 取扱説明書に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検、保管方法を行われていなかったために生じた故障
   ② 弊社が示す仕様の限度を超えて使用したために生じた故障
   ③ 弊社が認めていない改造・変更が原因となって生じた故障
   ④ 弊社のサービス指定工場及び弊社が認めたところ以外で修理し、それが原因で生じた故障
   ⑤ 弊社の純正部品以外の部品を使用したために生じた故障
   ⑥ 時の経過による変化（塗装面・メッキ面の自然退色、発錆など）
   ⑦ 一般的に品質、機能及び安全上に全く影響がないと認められる音、振動、外観上の軽微なキズなど
   ⑧ 自然災害または事故、過失、不注意による本機の損傷
   ⑨ 一般消耗品等で使用上における自然摩耗と認められるもの
   ⑩ 製品が日本国外で使用された場合
4. 注意事項
   ① 本保証書の提示なき場合または記載内容の不備、あるいは改定のある場合は保証しかねる場合があります。
   ② 本機の故障に起因するまたは関連するあらゆる損失及び費用は保証の範囲から除外させていただきます。

保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管して下さい。

<table>
<tr><td colspan="2">機種(型式名)：NB180-WD</td><td>製造番号：</td></tr>
<tr><td colspan="3">お買い上げ日：</td></tr>
<tr><td rowspan="3">お客様</td><td colspan="2">お名前：</td></tr>
<tr><td colspan="2">ご住所：</td></tr>
<tr><td colspan="2">ＴＥＬ：</td></tr>
<tr><td rowspan="2">販売店</td><td colspan="2">住所：</td></tr>
<tr><td colspan="2">店名：
ＴＥＬ：
印</td></tr>
</table>

might

NB180-WD用

ＬＥＤバルーン投光機

（ＭＢＬ－１８０）

取扱説明書

この取扱説明書は大切に保管して下さい。

本機を貸し出す時は、必ず取扱説明書を添付して下さい。

目　次

このたびは、マイト工業ＬＥＤ式バルーン投光機（ＭＢＬ-１８０）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ＬＥＤ式バルーン投光機を正しく安全にお使い頂くために、ご使用前や、点検の前に、この取扱説明書をよくお読み下さい。お読みになった後はお手元に大切に保管して下さい。

なお、ご不明な点は販売店または弊社までご相談下さい。

警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示します。

●投光機は下記の使用環境、条件で使用しないで下さい。

- ・ 風速１5m／秒（目安：電線が揺れる、傘がさしにくいなどの状態）以上の場所
- ・ 地盤または床面が強固でない場所や極端な傾斜がある場所
- ・ 周囲温度３５℃を超える場所、湿度が８５％を超える場所
- ・ 腐食性ガス、可燃性ガス、塩害の生じる場所
- ・ 水の浸る場所および非常に激しい雨が当たる場所
- ・ 可燃材に触れる場所
- ・ 振動、衝撃の激しい場所
- ・ 粉塵の多い場所

● 器具の改造、部品の変更は行わないで下さい。

● 器具を布や燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないで下さい。

● 万一、異常を感じたら使用を中止し、速やかに販売店または弊社までご相談下さい。

注意

製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示します。

● 器具の取付けには十分注意を払って下さい。
取付けが不十分であると器具の落下の原因となりますので、十分確認して取付けて下さい。

● お手入れの際には、必ず電源を切って、器具が十分に冷えてからおこなって下さい。

● この装置には寿命があります。一般的な使用状況でも何年もご使用いただくと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検もしくは交換が必要となりますので、販売店、または弊社までご相談下さい。

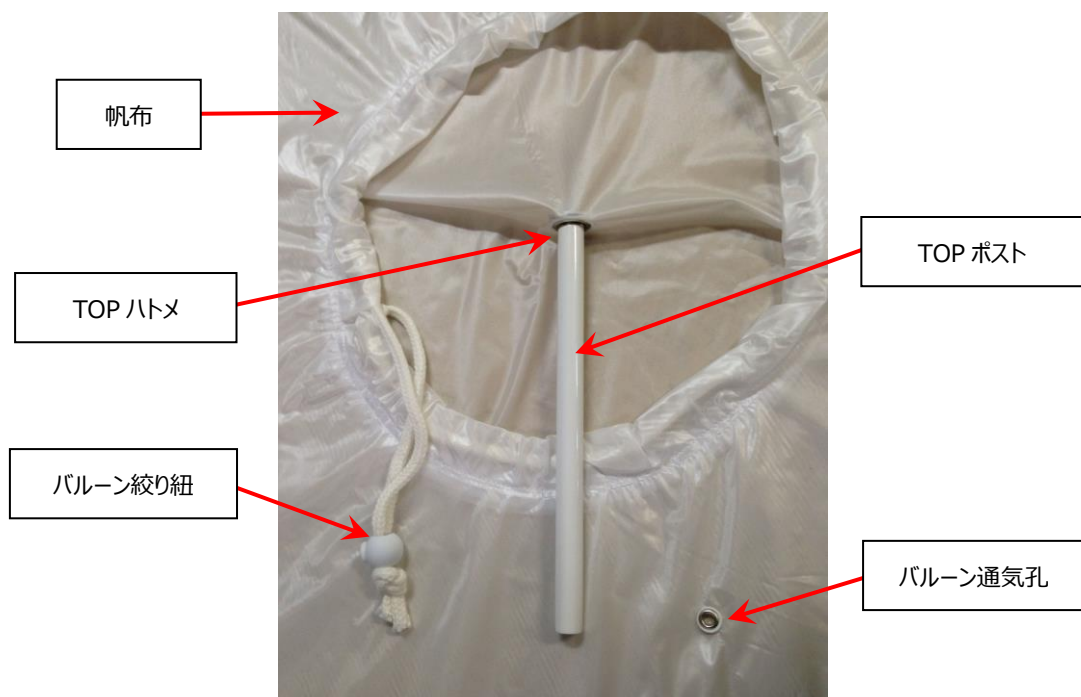
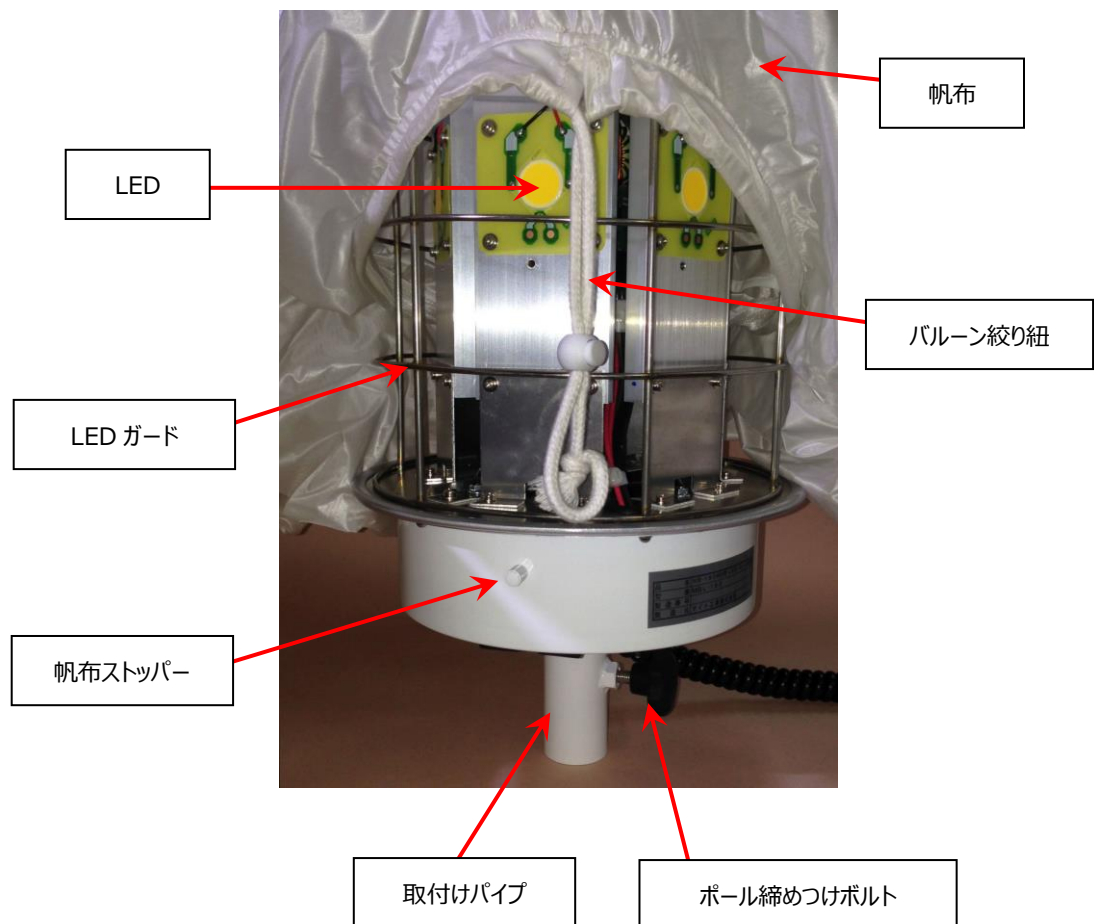
１． 製品仕様（単品のデータ）

名称	ＬＥＤバルーン投光機
型式	ＭＢＬ-１８０
定格電圧	ＤＣ３６Ｖ
許容入力電圧	ＤＣ３０－４８Ｖ
消費電流	５Ａ
消費電力	１８０W
総光束	２１、０００ｌｍ
色温度	５、０００Ｋ

バルーンを膨らませた状態

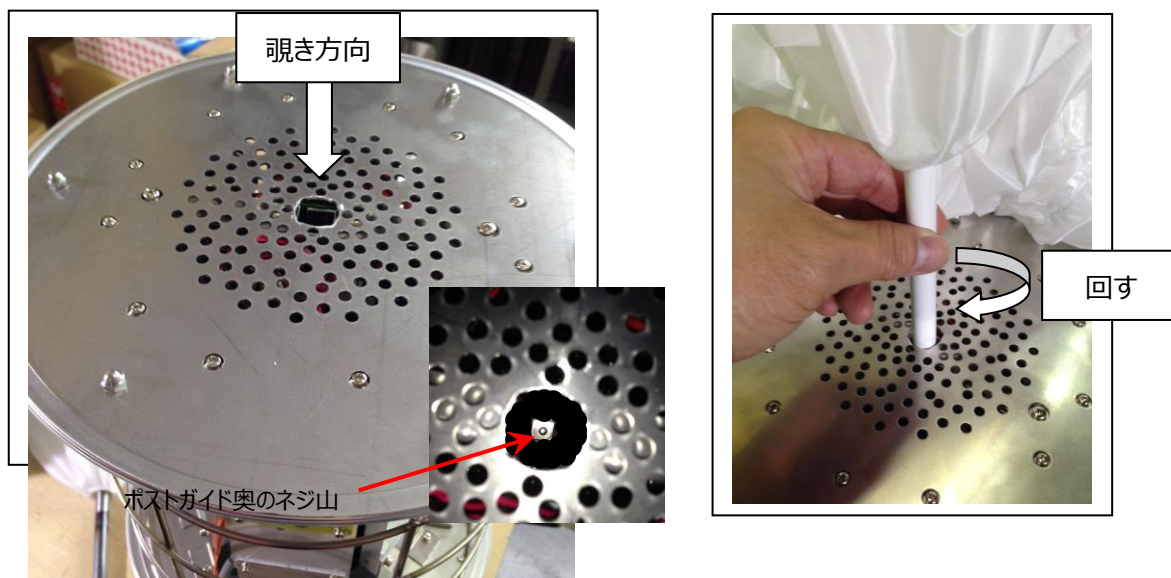
バルーンを閉じた状態

２． 各部の名称

帆布
LED
バルーン絞り紐
LED ガード
帆布ストッパー
取付けパイプ
ポール締めつけボルト
帆布
TOP ポスト
TOP ハトメ
バルーン絞り紐
バルーン通気孔

３． 使用前準備

（１） ＬＥＤバルーン投光機の使用前準備

① 梱包箱にはバルーン本体と、ＴＯＰポスト付きの帆布が梱包箱に別々に入っています。

② 帆布をバルーン本体に被せる前に、ＴＯＰポストをネジ穴が穴の奥のネジ山に合うように、
バルーン本体ＴＯＰの穴に差し入れ、動かなくなるまで軽く回し、ポストを本体に取付けます。
※締めすぎないように注意して下さい。

③ 帆布をバルーン本体に被せます。

④ バルーン絞り紐を帆布ストッパーの上の位置で締めれば投光機の準備完了です。

（２） ＬＥＤバルーン投光機の台車への取付け方法

①． 台車のバルーン取付けポールを垂直に立てます。（台車の取扱説明書参照）

②． バルーンは閉じた状態にしておき、ポール締付けボルトを緩めておきます。

③． 台車ポールの先端部に、バルーンの取付けパイプを被せます。

④． ポール締付けボルトを締付け、バルーンを固定します。

⑤． 投光機から伸びるカールコードの先端のコネクタを、投光機電源（LDP-2200D）
の背面にあるバルーン接続コネクタの矢印に合わせ、カチッと鳴るまで差し込みます。
（コネクタはワンタッチ式なので、キーを合わせて差し込むだけです）

⑥． バルーンの高さを調整し、ポールの固定レバーを回し位置を固定します。
（台車の取扱説明書参照）

４． 操作方法

（１）ＬＥＤバルーン投光機の操作方法

①．投光機電源（LDP-2200D）の点灯スイッチを「点灯」に入れ、バルーンを点灯します。

②．バルーン帆布が膨らみ、絞り紐が帆布ストッパーでずり落ちないことを確認します。

③．バルーン底面にあるスイッチで、希望の点灯モードに設定します。（設定は下表参照）

④．消灯するときは投光機電源（LDP-2200D）の点灯スイッチを「切」に戻します。

（２） ＬＥＤバルーン投光機の取り外し・収納・運搬

①． 投光機電源の点灯スイッチを「切」にし、バルーンを消灯します。
②． バルーン帆布が充分しぼんでから伸縮ポール固定レバーを緩め、バルーン投光機を一番下まで降ろし、
再度レバーを締め伸縮ポールを固定します。
③． ポール締めつけボルトを緩め、バルーン投光機をポールから抜き取ります。
④． 萎んだ帆布をバルーン本体に巻きつけるように畳みます。
⑤． バルーンのＴＯＰを下にしてバッグに入れ、最後に取付けパイプを出すように縛り紐でバッグの
入口を締めます。
⑥． 灯具収納バッグは、台車の引き手にバッグのベルトを引っ掛けて運搬可能です。

５． お手入れ方法

（１）バルーン帆布の交換

バルーン帆布が破れた場合や汚れがひどい場合は、バルーン帆布を交換できます。
（バルーン帆布は別売り）
バルーン帆布の交換は次の手順で行います。
①． 帆布ＴＯＰのビス（Ｍ４）を緩め、帆布抑え金具ごと帆布から取り外します。
②． 帆布の絞り紐を一杯まで緩めます。
③． バルーン帆布を開口部よりゆっくりとめくり上げ、ＴＯＰ側より取外します。
④． 新しいバルーン帆布を準備し、開口部をＴＯＰ側より軽く被せます。
⑤． 帆布のバルーンＴＯＰにあるハトメに、帆布抑え金具を装着したまま、金具の中央
の穴をポストのビス穴に合わせビス（Ｍ４）で留めます。
⑥． 軽くかぶせた帆布をゆっくりとバルーン本体の下まで被せます。
⑦． バルーン絞り紐を帆布ストッパーの上の位置で強く絞って交換完了です。

（２）器具の清掃について

汚れを落とす場合は、洗剤（うすめた中性洗剤がおすすめ）を浸したやわらかい布を
よく絞って拭き取り、洗剤が残らないように乾いた布で仕上げて下さい。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたりしないで下さい。
火災、変質、変色の原因となることがあります。
また、帆布は破れやすいので、尖った固い道具類は使用しないで下さい。

６．商品の保証について

台車の保証期間は、商品お買い上げ日より１年間です。

保証内容　　取扱説明書等の注意書に従った状態で保証期間内に故障した場合には、
無料修理等の処置をさせていただきます。
修理に関する相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店
または弊社までお問い合わせ下さい。

このたびはマイトＬＥＤバルーンをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
お買い上げいただいた製品につきましては、次の通り保証いたします。

1. 保証期間
   無償保証修理を受けられる期間はお買い上げから
   1 年間と致します。
2. 保証内容
   保証期間に通常の使用状態で本機を構成する部品に材料または製造上の不具合が発生し、弊社がこの欠陥を認めた場合に限り、修理を無償でいたします。
3. 保証の適用除外
   次に示すような場合は保証期間内であっても有償修理となります。
   ① 取扱説明書に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検、保管方法を行われていなかったために生じた故障
   ② 弊社が示す仕様の限度を超えて使用したために生じた故障
   ③ 弊社が認めていない改造・変更が原因となって生じた故障
   ④ 弊社のサービス指定工場及び弊社が認めたところ以外で修理し、それが原因で生じた故障
   ⑤ 弊社の純正部品以外の部品を使用したために生じた故障
   ⑥ 時の経過による変化（塗装面・メッキ面の自然退色、発錆など）
   ⑦ 一般的に品質、機能及び安全上に全く影響がないと認められる音、振動、外観上の軽微なキズなど
   ⑧ 自然災害または事故、過失、不注意による本機の損傷
   ⑨ 一般消耗品等で使用上における自然摩耗と認められるもの
   ⑩ 製品が日本国外で使用された場合
4. 注意事項
   ① 本保証書の提示なき場合または記載内容の不備、あるいは改定のある場合は保証しかねる場合があります。
   ② 本機の故障に起因するまたは関連するあらゆる損失及び費用は保証の範囲から除外させていただきます。

保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管して下さい。

<table>
<tr><td colspan="2">機種(型式名)：MBL-180</td><td>製造番号：</td></tr>
<tr><td colspan="3">お買い上げ日：</td></tr>
<tr><td rowspan="3">お客様</td><td colspan="2">お名前：</td></tr>
<tr><td colspan="2">ご住所：</td></tr>
<tr><td colspan="2">ＴＥＬ：</td></tr>
<tr><td rowspan="2">販売店</td><td colspan="2">住所：</td></tr>
<tr><td colspan="2">店名：
ＴＥＬ：
印</td></tr>
</table>